



グローバル

NO. 109

こうのす国際交流市民の会

発行責任者

鈴木和子 Tel090-6035-3649

お問い合わせ

Email hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp

発行日

2019年11月11日(月)

お知らせ



● 日本語ボランティア教育講座

12月08日(日)13:30~16:30

@ 市民活動センター活動室 A・B

講師は松尾先生。定員30名ほどで開催予定です。

● 年末パーティー 2019

12月22日(日) 11:00~15:00 例年通り北本野外活動センターにて開催予定です。

皆様の参加をお待ちしてま〜す。

● 田間宮学習センターのセンター祭り

事前の準備 及び当日のご協力よろしくお願いします。

★11月15日 9:30より品物の値付けを緑町の集会場を借りて行います。

★11月16日、ケーキを社協の調理室をお借りして作ります。

★11月17日、品物の搬入を朝8:20分より行います。

★当日は喫茶部門で12人(午前6人・午後6人) バザー部門で7人程必要です。

少しの時間でもいいので、是非お手伝いをお願いします。

● 第2回国際交流フェス

★11月17日 10:00~15:00 @ 市民活動センターで開催です。

私達はステージの裏側のフリースペースで喫茶コーナーを設けます。

お茶を飲みながら国際交流を楽しみましょう! ちょっとでも顔出してください。

連絡先は全て鈴木和子さんです。 Tel 090-6035-3649

ご報告

● メキシコ花火師との交流会

埼玉県・メキシコ州姉妹提携40周年記念花火交流事業の一つとして、鴻巣花火大会参加する為に、メキシコの花火師4名が来鴻巣し、市内3か所を訪問して行われました。



園児達との交流会から始まり、

最後はひなの里で交流市民の会メンバー中心に交流を行いました。



肝心の花火大会が中止になり、メキシコの花火を打ち上げることも、それを見ることも出来ずに、誠に残念でしたが、鴻巣での思いではきっと強く残っているのではないのでしょうか。

皆様からの寄稿

真夏の旅

臼田千鶴子

7月半ば、娘と二人「ベネルクス三国」へ10日間の旅をした。



ルクセンブルグ

まず、ルクセンブルグ大公国:

ベルギー、フランス、ドイツに囲まれたヨーロッパにちいさな国で、国土のほとんどが深い谷と緑に覆われた小さな城塞都市。



森の中旧市街



断崖を利用したに城壁に囲まれた旧市街と高層ビルが立ち並ぶ新市街、ここにはヨーロッパの様々な国際機関があり、ヨーロッパを代表する国際金融センターも形成。面積は神奈川県ほど。

人口は、約60万。労働力としてポルトガルなどからの移民を受け入れ外国人が約40%を占めると言う。

2日目、

朝、美しい旧市街をゆっくり散策、新市街をちょっと見て、ルクセンブルグ中央駅からベルギー、アントワープに夕飯時刻に着くつもりで目指す。が、列車事故。小さな駅で降りられ、なんやかやあって、目的地には真夜中近く。



大公宮

ルクセンブルグ駅

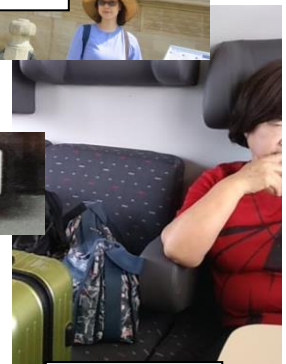


Gare de Ciney



NAMUR

乗客全員降ろされたシネイ駅とバスの着いたナムラ駅



まどろむ

3日目: ベルギー

ホテルに荷物を預け、リュックで行動。今回は沿線の景色を楽しもうと列車の旅とした。昨日あんなことがあったのに懲りもせず、翌日早朝、く屋根のない美術館、ブルージュを目指す。鐘楼、運河乗船、名物、出来立てのワッフルで昼食、



ブルージュ運河めぐり



ベルギー名物ワッフル。一人前。我々はシエアした。

ペギン会修道院などを訪れた後、気のいいオーナー、朝食のおいしい小さ



質素な教会



林の中のペギン修道会

なホテルに一泊。

4日目:

グランパレス



朝霧の中のペギン会修道院、レース店などを訪れた後、再び列車で首都、ブリュッセルへ。世界で最も美しい広場、グランパレスを堪能、ギルドの力って凄いな！小便小僧にもご挨拶。ギャラリー・サン・チュベールをぶらつきアントワープのホテルに戻る。



小便小僧

5日目、アントワープ観光。

ホテルの近くはダイヤモンド地区、その光が眩しい。



ネロとパトラッシュ



ルーベンスの家、ノートルダム大聖堂(ネロとパトラッシュで有名)市庁舎、中央駅もそれはそれは素晴らしかった。



ルーベンスの家

3時ごろ荷物を受け取り、再び列車でオランダ、アムステルダム中央駅へ。

娘がトラベルカード、GVB & EVSチケットなどを購入中に、駅中をほんの少しうろつく。そこにはBSテレビでおなじみのく誰が弾いても良いグランドピアノがあった。

中央駅から20分、北ホランド州の州都、ハーレムという静かな町のホテルに5日間お世話になる。

沿線はオランダらしい景色が続きアムステルダムへの往復が楽しい。



アムステルダム中央駅

6日目 アムステルダム観光

(ダム広場から始まり、アンネフランクの家、西教会等々) + 国立美術館。

日暮れ時く飾り窓地区を小走りに怖々通り抜ける。



ハーレムの街

く。

ゴッホ美術館の開館に間に合うよう朝早くホテルを出る。まだ観光客も少なく、ゆったりと堪能出来た。

ひまわりは9月の<特別展>のために未公開とのこと。

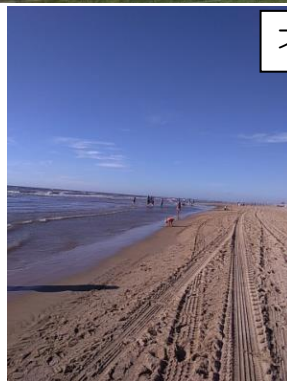
午後、オランダの原風景が見られると言う野外博物館ゾーンセ・スハンスの風車村>に行く。



アンネ、フランク像

一旦ホテルに戻り、フロントに勧められ夕暮れの<北海>を眺めに行く。

電車で10分。疲れていたけれど、ゆったりとした気分になった。



北海



7日目:

デンハーグにある<マウリッツハイス美術館>に行くために、列車に乗る。

その日からオランダは記録的な暑さとなり、しかも私の車両はエアコンが故障。ふんだりけったりだ。展示してある絵画はどれもこれも素晴らしく、暑い思いはしたけれど満足した。デルフトの町に立ち寄り、翌日の美術館のためにエデに宿をとる。

8日目:

開館時間に間に合うようにエデの駅前からバスに乗る。

<クレラ・ミューラー美術館>は美しい林に囲まれた国立公園の中にあり、そこまでの小道には彫刻も展示されている。朝早いのとアムステルダムから離れていることもあり、

繰り返しゆっくり見られた。

多くのゴッホのコレクションはゴッホ美術館と双壁とされる。

フェルメールの作品も多く、ピカソ、ミレー、セザンヌなども見逃せない。これらの全てはクレラ夫妻の寄贈によるもの。館内が混雑してきたので館を出る。



夜警



娘のたつての希望でコトレストへ。<ミッフィー>の町と言われるけれど私にはどうもねえー。あちらこちらに彼女の像があり、横断歩道の信号までもー。



それにしても暑い！汗が流れる。
運河の畔のカフェでアムステルダム名物パンケーキを食べる。デカー！！

ミッフィの信号機

アムステルダム名物
パンケーキ



ハーレムに戻ろうとしたら、またしてもそっち方面動いてなく、アムステルダム経由にする。
わたし的には車窓からの眺めが楽しめるので嬉しかった。

9日目:

この旅の最後の日。この町に住むガイドさんにハーレムを案内して頂いた。



篤志家による養老院のひとつ

11歳だったモーツアルトがパイプオルガン？を弾いたと言われる聖パフォ教会、旧肉市場、跳ね橋、風車、市庁舎、そして篤志家たちの屋敷を改造し生まれ変わった40余りの養老院、その一つは美術館となっている。<コリー・テン・ボーム博物館>。



かたりべ



第2次世界大戦中、熱心なクリスチャンだったオランダ人の時計店であったコリーの家は、ユダヤ人に隠れ家として店の二階を提供。ナチに発見され、家人、友人たち30人は次々に連行され収容所へ。一人生き残ったコリーは戦後、執筆活動に取り組み、戦争の悲惨さと信仰の尊さを訴え続けた。店は博物館となった。

<アンネ・フランク>は有名だが当時はコリー家のような人々オランダには沢山あったとか

ホテルの皆さん、お世話さまでした。

スキポール空港には夕方のバスがハーレムから出た。フランクフルト経由で帰国。
ルクセンブルグにもう少し居たかったなあー。



屋根裏に続くロッカーの最下段

語学クラブの現状報告

前号に続いて 外国語を勉強するクラブの内 K.E.S.S. を紹介します。

★“Konosu English Speaking Society(K.E.S.S.)”

代表 小山邦彦



E.S.S. というと、各大学の英会話クラブを連想される方が多いと思いますが、それほど身構えしなくても結構です。25年程前になりますが、鴻巣市の教育委員会が外国人を、各小、中学校に派遣するために (Assistant Language Teacher) A.L.T.として13名ほど、市に採用したことがありました。一人の先生が3~4校を担当し各校からの要望が多く先生方も大変ご苦労されたとおも

います。A.L.T.は、教育委員会の下に普段は市役所に勤務が義務づけられており、アルバイトなどは禁止されていましたが、土曜日、日曜日、などは市民の要望に応え、公民館で英会話を指導するようになりました。日本では英語を外国人と話すところが殆ど無く、東京23区には、英会話喫茶店や、高額な月謝を支払えば別ですが市民同士が自由に楽しく英語を喋る所があってもいいのでは?と考え13年程前、鴻巣中学校前の中央公民館に<今夜は英語で喋らナイトクラブ>を立ち上げ今日に至っております。

当初は13~14名の殆ど現役の方が多くて楽しかった会合でしたが、駅から徒歩5~7分、やはり、徐々に会員の足が遠のきました。幸い駅ビルが完成し、歩道橋で結ぶアネクスビルもでき映画館、市民活動センターもオープン新たにK.E.S.S.として市役所に団体登録、正式に認可を得て在住外国人も含め現在はメンバーも定着してきました。会員も現役からリタイヤー組迄、様々経験豊富なメンバーがお互いに助け合い、自己啓発につながり外国人達とも自由に楽しく英語で話合っています。語学を学ぶ目的は人それぞれですが、1)海外旅行が好きだから 2)外国人と自由に話したいから 3)海外にいる孫等と話したいから 4)ボランティア活動したいから 5)認知症予防のため等々様々ですが日々研鑽の毎日です。

年齢、資格、などの条件はありませんが、もし下記に該当する方々にはご遠慮頂いております。一般常識に欠ける方(来日した外国人が嫌いだとか)、自分一人の独壇場で周りの空気が読めない人、また先生が外国人じゃないからなど、はっきりご遠慮頂いております。国際交流に水を差すからです。

是非一度会合にに参加してみてください。お気に召しましたら何時でも大歓迎です。

例会日、時間、会場、会費

例会 毎週 月曜日 木曜日 (pm7:00~8:30) 祝祭日無関係
 毎週 火曜日 (pm 2:00~3:00 本年10月1日より初級コース開設)
 会場 アネクスビル (映画館のあるビル)3階 市民活動センター
 会費 年間 1,000円

語学クラスの紹介



★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）

午後：7時～9時

講師：ボランティアの皆さん

場所：中央公民館

鴻巣駅から徒歩7分（鴻巣中学校前）

会費：無料

ボランティア先生募集、一緒に楽しみましょう！

連絡先：鈴木和子 ☎09060353649

臼田千鶴子 ☎08066381318

★スペイン語クラブ

授業：原則として

第1, 3土曜日 午後2時～3:45

講師：リリアナさん（コロンビア出身）

場所：中央公民館

会費：月額 1,000円

連絡先：田上有三（代表） 080-1317-5579

学習日 11月 2日 30日

12月 7日、14日

スペイン語をみんなで仲良く勉強して、視野を広げ、これからの人生に役立てましょう。

みなさんの参加をお待ちしています。

★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）

午後 1時30分～3時30分

講師：ボランティアの皆さん

場所：市民活動センター

（鴻巣駅前 アスリエビル 3F）

会費：無料

皆さんの周りで、日本語に困っている方はいませんか？ ☆子ども中心ですが、大人も学んでいます。子どもは学校の予習、復習、ドリル等を。大人は「日常生活に役立つ日本語」等を学んでいます。

連絡先：鈴木和子090-6035-3649

★編集後記

水田 久敏

この2ヶ月間色々なことがありました。

強い暴風雨を伴った台風が広範囲な地域に被害を及ぼしました。皆様ご本人或いは親戚・知人に被害に会われた方もいらっしゃるかも知れませんが、お見舞い申し上げます。

他方、スポーツでは爽やかな話題を沢山提供して貰いました。中でもラグビーのワールドカップの熱戦と日本の熱い戦いっぷりは、全国民に勇気を与えてくれましたし、ルールは分からなくても、攻める側vs守る側の一生懸命な姿は、大勢のにわかラグビーファンを増やしたのではないのでしょうか。

そして即位礼正殿の儀は本当に厳かに行われました。日本の伝統について、改めて思いを馳せられた方もいらしたのではないのでしょうか。我々はこんないい国に生れたのです。

これからも色々な行事が続きます。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋！

大いに楽しみましょう！

★初歩のスペイン語クラブ

授業：原則 第2,4日曜日 午後2時～4時

11月は 10日、24日

講師：リリアナさん（コロンビア出身）

場所：田間宮学習センター

会費：月額 2,000円

連絡先：赤井純子（代表） 080-5188-4674